

ビンミン・プラスチック(BMP)



《企業紹介》

同社は主に上下水道、ガス、地中通信・電力ケーブル用に使用されるプラスチック製管材のメーカーである。ベトナム戦争終結(1975 年 3 月)直後の 1977 年 11 月に設立され、ベトナムのインフラ建設に必要な資材の提供に重要な役割を果たしてきた。ベトナム全土に 4 つの工場を展開、プラスチック製管材の生産能力は年間 15 万トンに達し、スケールメリットによって高いコスト競争力を有している。また、ベトナム全土に 1,950 の営業拠点を展開して競合他社との差別化を図り、市場シェア 3 割程度を握るベトナム首位級のプラスチック製管材メーカーとなっている。

2018 年 4 月にタイの王族系大手財閥サイアム・セメント傘下のナワプラスティック・インダストリーが同社の発行済株式の 54%を保有することとなり、その子会社となっている。

《2025 年 1-3 月期業績》

2025 年 1-3 月期の売上高は前年同期比 37.9%増の 1.3 兆 VND (ベトナムドン) だった。2024 年 10-12 月期の減収から一転して増収となった。公共投資や設備投資の押し上げ効果は、工事の開始時期や進捗状況に大きな影響を受けるようで、四半期ベースでの前年同期比変動率が大きくなっている。2024 年 12 月末に 4,635 億 VND へ膨らんでいた在庫高も 2024 年 3 月末には 3,288 億 VND へ減少しており、前四半期の受注が順調に消化されたことが推測できる。

粗利益は同 38.8%増の 5,902 億 VND となった。増収が主な要因だが、粗利益率が同 0.3%ポイント増の 42.7%となったことも貢献した。金融費用が大きく増加したが、販売費が同 20.9%増の 1,823 億 VND、一般管理費が同 13.6%増の 320 億 VND と、いずれも粗利益を下回る増加に抑制されたことから、営業利益は 51.0%増の 3,574 億 VND となった。税引前利益は同 51.0%増の 3,586 億 VND、税引後利益は同 51.1%増の 2,869 億 VND となった。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2024年1-3月期		2024年4-6月期		2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高(純額)	1,002.9	-30.4	1,153.2	-13.7	1,406.8	51.9	1,052.8	-27.6	1,383.1	37.9
粗利益	425.1	-23.4	505.6	-11.7	606.0	52.1	452.0	-23.5	590.2	38.8
粗利益率(%、ポイント)	42.4	3.9	43.8	1.0	43.1	0.1	42.9	2.3	42.7	0.3
販売費	118.7	1.4	118.7	1.4	118.7	0.0	118.7	0.0	118.7	0.0
一般管理費	15.2	-10.8	15.2	-10.8	15.2	0.0	15.2	0.0	15.2	0.0
営業費用	188.4	-7.7	156.3	-23.8	251.7	97.0	163.3	-40.7	232.7	23.5
金融費用(マイナスは受取超過)	9.1	-47.3	15.6	428.2	51.4	-	7.5	-44.3	18.6	103.6
販売費	150.8	-5.9	117.3	-32.3	165.4	39.3	122.4	-45.3	182.3	20.9
一般管理費	28.2	7.4	23.2	-18.8	35.0	130.2	33.2	-9.9	32.0	13.6
営業利益	236.7	-32.5	349.3	-4.9	354.3	30.9	288.7	-8.5	357.4	51.0
税引前利益	237.4	-32.4	350.4	-4.9	362.0	34.7	290.7	-8.9	358.6	51.0
税引後利益	189.9	-32.4	280.3	-4.9	289.6	38.7	231.0	-10.1	286.9	51.1

出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250424

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

ビンミン・プラスチック(BMP)



《株価の動向》

同社の株価と VN 指数を 2024 年末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。年初来の同社の株価のパフォーマンスは VN 指数を大きくアンダーパフォームしていたが、4 月 8 日以降のリバウンド局面で大きく上昇し、一気にアウトパフォームに転じている。4 月 23 日終値ベースで VN 指数は 2023 年末比 4% 下落しているが、同社の株価は同 8% の上昇となっている。4 月 23 日終値 144,400VND で計算した同社の時価総額は 11.8 兆 VND であり、それは 2024 年 12 月期実績の親会社株主帰属の当期利益 9,908 億 VND に対して 11.9 倍の水準となっている。

ベトナム政府は 2025 年の GDP 成長目標を 8.0% とし、その牽引役の一つに、鉄道、高速道路、空港、港湾などのインフラ整備を挙げている。目標達成には様々な困難があるが、外需依存の程度を引き下げ、内需を中心とした経済成長を目指すこともこの方針の狙いの一つと考えられるだろう。特に米国との関税交渉において、積極的な内需拡大策は効果のあるアピールになる可能性がある。これらの動きは同社の主力製品であるプラスチック製管財の需要見通しに対してもプラスになるだろう。

図表2 株価推移



出所 Investing.comのデータをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20250424

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。